

キャラクター名
藤咲 桜花(フジサキ オカ)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン エンジェルハイロウ		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	15	性別	女
覚醒	償い	衝動	加虐	初期侵食率	37	%
出自	疎まれた子	経験	退学	邂逅	殺意	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	0	0			1	行動値	22
感覚	4	0	1			5	(非装備時)	22
精神	2	1	3			6	戦闘移動	27
社会	1	0	0			1	全力移動	54

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:	噂話	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
全力:不可視の魔女<インビジブル・ウィッチ>	RC	6r+4	-	+53		コスト5、セットアップスピードスター+戦いの予感、マイナー<ライトスピード>、メジャー<サイレンの魔女>、装甲無視、2回攻撃
通常:不可視の魔女<インビジブル・ウィッチ>	RC	6r+4	-	+53		コスト15、セットアップスピードスター+戦いの予感、メジャー<サイレンの魔女>、装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	
携帯電話	
携帯電話	
制服	
防弾防刃ジャケット	
Bランク:スペシャリスト	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 神速の担い手P		N		
土浦菜南	P 守りたい	N でも私に出来るのかな		
柚木しいな	P これからも	N 私の中で...		
両親	P 懐旧	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
先手必勝	2	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	初期侵食率+4、行動値+Lv*3							
戦いの予感	2	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	初回ラウンドのみ発動可能、行動値+Lv*10							
サイレンの魔女	4	5	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果:	装甲無視、攻撃力+Lv*3							
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100↑	
効果:	シナリオ中1回、2回行動、クリティカル+1							
スピードスター	1	5	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	シーン中1回、							
天使の外套	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	変装							
見放されし地	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果:	光の屈折率操作、暗闇を作ったりできる							
七色の声	★	1	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	変声							
無音の空間	★	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	音、匂いを閉ざし気配を消す							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

私は小さいころから両親より虐待を受けていました。だから私は他人とのかかわりを避け、存在感を消して生活していたのです。そんな私を必ず見つけてくれる"柚木しいな"、しいなは私がどんなひどい時でも隣にいてくれました。しいなと一緒にいる時だけは"普通"でいられました。ずっと続くと思っていた"日常"もそう長くはありませんでした。……しいなは殺されたのです。いつも通る通学路を外れ、しいなが私の気分転換に連れていった商店街、そこで事件が起きました。事件の詳細は後にUGNの人が説明と謝罪に来ました。その日、たまたまその商店街でFHとUGNの抗争があり、それに巻き込まれたというのです。突如襲ってきたFH、とっさに私を庇ったしいな。「逃げて！」その言葉を聴くと私は商店街の外へ必死に走りました。今だからこそわかりますが、しいなは"オーヴァード"で、襲撃を防ぐと同時に"ワーディング"を展開していたのだと思います。直後UGNのエージェントに保護された私は、しいなが先ほどの抗争で命を落としたこと、髪留めは遺品のひとつであること。そして私が"レネゲイド"に感染したこと、覚醒したことを教えてもらいました。私はしいなのことを忘れません。しいなからもらったこの"力"で、しいなが守ってくれた私の"日常"を守ると決めました。それが私に出来る唯一の"償い"だから……。